

## 本学工学部長および応用生物学部長が マレーシア国民大学を訪問

### 【概要】

2023年1月4日（水）、5日（木）に、大学間学術交流協定に基づく研究・国際交流活動の一環として、本学の村井利昭 工学部長および光永徹 応用生物学部長がマレーシア国民大学を訪問しました。

本学とマレーシア国民大学（UKM）は、本学工学研究科において国際連携専攻（Joint Degree Program, JDP）を1専攻設置しています。今回の両学部長による訪問は、工学研究科での交流の更なる深化と、食品科学・生物化学系への交流の拡大およびマレーシアでのESL※プログラムの可能性などを探る目的で行われました。

1月4日（水）は、UKMのFaculty of Science & TechnologyおよびFaculty of Engineering & Built Environmentにおいて、各学部の紹介や今後の交流の可能性について会談し、翌5日（木）は、Mohammad Kassim UKM副学長（学術・国際担当）およびTanot Unjah 副国際交流オフィス長（UKM Global）と、現在の交流状況の確認および本学学生が短期で参加できるESLプログラムや、世界展開力強化事業でのJDPプラットフォームにおける連携強化について情報交換を行いました。

今後も、本学の国際化の更なる発展のため、協定先大学の実質的な交流学部の拡大支援や、本学学生が参加できる短期語学・文化研修プログラムの新規開拓を進めていきます。



Faculty of Science & Technologyの学部長と  
光永 応用生物学部長



Faculty of Engineering & Built Environmentの  
学部長と村井 工学部長



Mohammad Kassim UKM副学長(学術・国際担当)および  
Tanot Unjah副国際交流オフィス長との会談後の集合写真